

ありがとうの中藤

学校便り第2号

令和4年5月18日

福井市中藤小学校



令和4年度がスタートして、約1ヶ月が過ぎようとしています。毎日の生活の中にリズムができ、一人ひとりの学校生活にも「ゆとり」が生まれている感じがします。

4月に『ありがとうの中藤』という目標を立て、「ありがとう」の心を大切にできる人、そして、子ども達も教師もお互いに「ありがとう」を感じることができる学校づくりを行いたいと望んでいますが、まだまだ課題点も多いことに気がきます。

そのひとつに「あいさつ」があります。5月の全校朝礼でも話をしましたが、毎朝、雨の日も、風の日も、中藤小学校のみなさんのために交差点に立って見守り活動をしてくださっている方々に、きちんと挨拶を返すことができない人がいます。中には、大きな声で自分から「おはようございます。」と言ってくれている人もいます。しかし、見守り隊の方が、大きな声で挨拶をしているのにも関わらず、黙って横を過ぎていく人がいます。とても残念です。

人は日々、苦勞をしながら、助け合いながら生活をしています。これも朝礼で話をしましたが、挨拶ができるようになると、挨拶をする意味を知ります。しないから分からないのです。

ぜひ、「ありがとう」の心で、きちんと「あいさつ」ができる人でいっぱいの中藤小学校になることを心から願います。

中藤小学校長 佐藤 勉 (Big Ben)

＜チューリップをいただきました＞



今年も八幡輝男様が、富山県からわざわざチューリップを鉢に植えた状態で持ってきてくださいました。全部で4色のとても美しい花たちです。このお心をぜひ大切にしたいです。

昨年度持ってきてくださったチューリップ達は、花壇でしっかりと春を迎えました。

学校では、徐々にですが、コロナ禍前の教育活動を実施しています。今後も子ども達の体験活動や学びを一層進めるために、各ご家庭での健康観察を確実にお願いします。毎朝の検温等大変お世話になりますが、ご協力の程よろしくお願いいたします。

＜令和4年度スクールプラン＞

裏面に今年のスクールプランを掲載しました。スクールプランとは、どのような子どもたちを育てたいのか、そして、そのためにどのような取組を行っていくかを具体的に表したものです。

保護者の皆様のご理解とご協力をお願いします。



令和4年度 福井市中藤小学校 スクールプラン

【研究主題】

互いに認め合い 共に学び合う
～自己との対話、他者との対話を通して、学びを深め、よりよく生きる～

【灯明寺中学校区研究テーマ】

主体的に取り組む、地域の中で共に学び合う児童・生徒



学校教育目標 『ありがとうの中藤』

人との出会い・つながりに感謝しながら、自ら学び自立する子どもの育成



めざす子ども像（校訓）

・自ら学ぶ子(勤勉)・なかよしの子(敬愛)・じょうぶな子(剛健)



【福井市学校教育方針】

学びをつなぐ・未来につなげる
～「つながる」を大切にした学校づくり～

【福井市学校教育目標】

郷土福井に誇りをもち、
たくましく生きる子どもの育成

めざす教師像

・チーム中藤の一員として、協働しながら問題解決に取り組む教師
・「できる喜び、わかる喜び」のある授業づくりに取り組む教師
・教育のプロ(専門職)としての自己研鑽に努める教師

めざす学校像

・子ども、保護者、地域の人すべてに安心と安全を提供できる学校
・「失敬」や「トラブル」を恐れず、それらを通して、子どもや保護者、教師自身が共に学び成長できる学校

【重点目標と具体的な取組】

できる喜び、わかる喜びのある授業

- ◎課題解決に必要な思考力・判断力・表現力の育成
- ◎基礎基本の確実な習得

○対話を通して、深く学ぶ授業の推進
・より深く学ぶために、課題や場の設定などを工夫した授業改善
・道徳科を中心とした教師協働による授業実践

○基礎基本の習得を重視した「できる喜び・わかる喜び」のある授業づくりの推進
・習熟度や個に応じた指導の工夫(少人数、T T、ICTの活用)

★授業がよく分かると回答する児童 90%以上
★退席の時間に考えを深められたと回答する児童 90%以上

No!! いじめ! の学校

- ◎思いやりの心をもち、互いに理解し、高め合う仲間づくり

○思いやりの心の育成と人権意識の向上
・自己肯定感を高める学級・学年活動の工夫
・年間計画に基づいた情報モラル教育の推進
・人権週間を中心に「人や生き方」について学ぶ取組

○感染防止対策、健全な生活リズムづくり、体力アップ
・感染防止対策の継続と徹底、「メディアコントロール」の推進
・体育の時間での投力、持久力向上の取組

★みんなで何かをするのは楽しいと回答する児童 90%以上
★いじめをみたら止めようとする児童 80%以上

自ら考え行動できる児童

- ◎仲間との協働を大切にしながら、自ら考え行動できる児童の育成

○一人一役の活動を通して、他と協力しながら行動する児童の育成
・学校行事や児童会活動、学年・学級活動などでの一人一役の活動(活動のねらいや求める姿の明確化と共有)
・場に応じて当たり前のことができる児童の育成(挨拶、言葉遣い、整頓、掃除など)
○各行事活動や人との関わりを通して、自立する児童の育成
・読書タイムでの読書活動の推進(生き方の学習、図書館ボランティアの活用など)
・キャリア教育プログラムの活用

★進んでみんなのために行動できたと回答する児童 80%以上
★将来の夢や目指す目標をもっている児童 80%以上

開かれた信頼される学校

- ◎地域との積極的な交流
- ◎教育活動の地域への発信

○地域との連携による開かれた学校づくり
・授業や行事で地域のひと・もの・ことの活用促進
・地域の行事活動への可能な限りでの参画

○教育活動の発信による信頼される学校づくり
・ホームページや学校だよりなどでの積極的な情報発信
・日々の連絡帳や適宜連絡、学級・学年懇談会等を通して保護者との互いに尊重し合う信頼関係づくり

★子どものことで気軽に相談できると回答する保護者 90%以上
★子ども達が地域に愛着をもってしていると回答する保護者 80%以上

※評価数値はA B回答

《業務改善のための取組》 ○教材や指導方法の共有 ○業務推進日を計画的に設定 ○FEnet会議室の活用、ペーパーレス化の推進